

平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年10月31日

上場会社名 コカ・コーラウエスト株式会社 上場取引所 東・大・福  
 コード番号 2579 URL <http://www.cwest.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 民雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務統括部長兼財務部長 (氏名) 角町 誠 (TEL) 092-641-8585  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績（平成23年1月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	305,903	8.8	13,232	42.9	13,106	31.2	6,067	△2.2
22年12月期第3四半期	281,279	△1.0	9,262	490.1	9,989	537.4	6,202	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第3四半期	60.68	—
22年12月期第3四半期	62.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第3四半期	346,119	227,135	65.5	2,268.45
22年12月期	346,032	226,267	65.3	2,260.03

(参考) 自己資本 23年12月期第3四半期 226,783百万円 22年12月期 225,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
23年12月期	—	20.00	—		
23年12月期（予想）				20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無： 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	408,000	8.6	16,000	33.3	15,600	23.2	7,200	△5.0	72.02

(注) 当四半期における業績予想の修正有無： 無



目 次

頁

添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報	
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生の影響により厳しい状況にあるなか、サプライチェーンの立て直しなどにより生産は回復してきており、景気は持ち直しつつあります。しかし、福島第一原発事故に端を発した全国的な電力不足等の影響は継続しており、さらに海外経済の減速や円高の影響が懸念されるなど、景気の先行きはいまだ不透明であります。

清涼飲料業界におきましては、消費者の節約志向の継続に伴う低価格化の影響などにより、清涼飲料各社間での販売競争は激化しており、清涼飲料各社を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しております。

このような経営環境のなか、当社グループは、「長期経営構想2020」の第1ステップ「革新と成長の3年」の初年度である平成23年度において“営業の変革”と“SCM(サプライチェーンマネジメント)の変革”を高度に進化させ、収益・ボリューム・シェア目標を必ず達成するとともに、将来に亘って成長を続けることのできる基盤づくりを進めております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績の状況は、次のとおりであります。

#### <売上高>

清涼飲料事業における売上高はほぼ前年通りとなりましたが、平成22年10月1日付で株式を取得したキューサイ株式会社とその子会社5社を同日以降連結対象としたことにより、売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ246億2千4百万円増加し、3,059億3百万円(前年同期比8.8%増)となりました。

#### <営業利益および経常利益>

上述した新規連結会社の影響により、営業利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ39億7千万円増加し、132億3千2百万円(同比42.9%増)となりました。また、経常利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ31億1千6百万円増加し、131億6百万円(同比31.2%増)となりました。

#### <四半期純利益>

経常利益は増加したものの、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失の発生等の影響により、四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ1億3千5百万円減少し、60億6千7百万円(同比2.2%減)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等を適用したことに伴い、従来の「飲料の製造・販売事業」を「清涼飲料事業」とするなどの変更を行っております。詳細は、[添付資料]P.9「3. 四半期連結財務諸表(5)セグメント情報等」をご覧ください。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8千6百万円増加し、3,461億1千9百万円(前連結会計年度比0.0%増)となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ7億8千1百万円減少し、1,189億8千3百万円(同比0.7%減)となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ8億6千7百万円増加し、2,271億3千5百万円(同比0.4%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況等につきましては、次のとおりであります。

#### <営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、331億5千9百万円のプラス(前年同期比42.1%増)となりました。税金等調整前四半期純利益が増加したことや、清涼飲料事業において、仕入債務が増加したこと等の影響により、当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ98億2千6百万円増加しております。

#### <投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、206億6千3百万円のマイナス(前年同期112億5千万円のマイナス)となりました。当第3四半期連結累計期間において、平成23年度の投資計画に基づき、積極的な設備投資を行ったことや、資金運用による有価証券の取得等の影響により、当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ94億1千2百万円のマイナスとなりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、82億8千7百万円のマイナス（前年同期52億6千4百万円のマイナス）となりました。当第3四半期連結累計期間において、連結子会社のキューサイ株式会社の長期借入金の約定返済等の影響により、当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ30億2千2百万円のマイナスとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ42億8百万円増加し、416億4千3百万円（前年同期比46.6%減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、依然として厳しい経済環境により消費低迷が継続する中、グループを挙げて収益改善活動を進めた結果、営業利益、経常利益、四半期純利益はほぼ計画通り推移いたしました。よって、通期の業績予想につきましては、平成23年2月4日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、従来と同一の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間における営業利益、経常利益はそれぞれ26百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は753百万円減少しております。

② 「持分法に関する会計基準」および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

なお、これによる経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,272	24,208
受取手形及び売掛金	27,098	23,507
有価証券	24,240	15,737
商品及び製品	20,775	22,355
仕掛品	353	231
原材料及び貯蔵品	2,464	1,396
その他	16,803	16,545
貸倒引当金	△261	△186
流動資産合計	116,747	103,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,498	34,992
機械装置及び運搬具（純額）	21,518	20,155
販売機器（純額）	22,175	21,209
土地	52,935	53,982
リース資産（純額）	1,418	2,066
建設仮勘定	1	7
その他（純額）	1,401	1,528
有形固定資産合計	133,950	133,943
無形固定資産		
のれん	48,149	50,172
その他	4,507	4,282
無形固定資産合計	52,656	54,454
投資その他の資産		
投資有価証券	24,475	26,690
前払年金費用	6,124	10,934
その他	12,737	16,773
貸倒引当金	△572	△560
投資その他の資産合計	42,764	53,838
固定資産合計	229,371	242,236
資産合計	346,119	346,032

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,014	14,615
1年内返済予定の長期借入金	2,567	2,567
リース債務	759	1,031
未払法人税等	1,649	1,616
未払金	15,749	15,558
販売促進引当金	188	169
その他	9,185	7,854
流動負債合計	50,114	43,415
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	10,278	12,816
リース債務	944	1,231
退職給付引当金	1,103	5,622
役員退職慰労引当金	114	102
負ののれん	—	207
その他	6,429	6,369
固定負債合計	68,869	76,349
負債合計	118,983	119,765
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	109,072
利益剰余金	129,725	127,657
自己株式	△25,763	△25,761
株主資本合計	228,265	226,199
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,482	△255
評価・換算差額等合計	△1,482	△255
少数株主持分	352	324
純資産合計	227,135	226,267
負債純資産合計	346,119	346,032

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	281,279	305,903
売上原価	154,233	157,192
売上総利益	127,045	148,710
販売費及び一般管理費	117,783	135,477
営業利益	9,262	13,232
営業外収益		
受取利息	105	50
受取配当金	155	165
負ののれん償却額	311	207
持分法による投資利益	786	333
その他	272	349
営業外収益合計	1,631	1,105
営業外費用		
支払利息	515	520
固定資産除却損	250	403
その他	137	307
営業外費用合計	903	1,231
経常利益	9,989	13,106
特別利益		
固定資産売却益	175	382
投資有価証券売却益	—	49
補助金収入	118	—
事業譲渡益	34	—
特別利益合計	328	431
特別損失		
災害による損失	—	35
投資有価証券評価損	53	14
たな卸資産処分損	—	490
節電対策費	—	352
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	726
特別損失合計	53	1,619
税金等調整前四半期純利益	10,265	11,918
法人税、住民税及び事業税	1,636	2,806
法人税等調整額	2,414	3,010
法人税等合計	4,051	5,816
少数株主損益調整前四半期純利益	—	6,102
少数株主利益	10	34
四半期純利益	6,202	6,067



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,265	11,918
減価償却費	16,596	15,898
のれん償却額	169	2,023
負ののれん償却額	△311	△207
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△7	12
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△17	△4,519
前払年金費用の増減額 (△は増加)	722	4,810
受取利息及び受取配当金	△260	△215
支払利息	515	520
持分法による投資損益 (△は益)	△786	△333
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△49
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	53	14
固定資産売却損益 (△は益)	△178	△371
固定資産除却損	180	391
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,644	△3,591
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,942	389
その他の資産の増減額 (△は増加)	△307	360
仕入債務の増減額 (△は減少)	△949	5,398
その他の負債の増減額 (△は減少)	1,724	2,271
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	726
その他	88	237
小計	24,793	35,686
利息及び配当金の受取額	260	208
利息の支払額	△391	△422
法人税等の支払額	△1,474	△2,743
法人税等の還付額	145	431
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,333	33,159
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△146	△9,592
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	805	4,649
固定資産の取得による支出	△12,768	△17,103
固定資産の売却による収入	619	1,449
関連会社株式の取得による支出	△149	—
事業譲渡による収入	628	—
長期貸付けによる支出	△182	△223
長期貸付金の回収による収入	150	172
定期預金の預入による支出	△328	△224
定期預金の払戻による収入	120	215
その他	—	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,250	△20,663

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△2,538
リース債務の返済による支出	△1,160	△1,741
自己株式の取得による支出	△2	△2
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△4,098	△3,998
少数株主への配当金の支払額	△4	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,264	△8,287
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,817	4,208
現金及び現金同等物の期首残高	71,221	37,434
現金及び現金同等物の四半期末残高	78,039	41,643

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

	飲料・食品の 製造・販売事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	279,500	1,778	281,279	—	281,279
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	60	61	(61)	—
計	279,502	1,838	281,340	(61)	281,279
営業利益	14,998	342	15,341	(6,079)	9,262

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分を基として行っております。

2. 事業区分

- (1) 飲料・食品の製造・販売事業…飲料・食品の販売、飲料の製造、運送業（飲料物流）、自動販売機関連事業
- (2) その他の事業 …不動産事業、保険代理業、運送業（飲料物流以外）、外食事業

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

連結売上高の10%未満であるため海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品・サービス別に組織運営体制を確立しており、製品の種類・性質、販売市場等をもとに、「清涼飲料事業」、「健康食品事業」、「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する製品およびサービスの種類は以下のとおりであります。

清涼飲料事業 : コカ・コーラ等の清涼飲料の製造・販売、運送業（飲料物流）、  
自動販売機関連事業、不動産事業、保険代理業

健康食品事業 : 青汁製品やヒアルロン酸コラーゲン製品等を中心とした健康食品の製造・販売

その他事業 : 運送業（一般貨物）、外食事業

2. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

	清涼飲料事業 (百万円)	健康食品事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)
売上高				
(1)外部顧客への売上高	279,029	25,667	1,206	305,903
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	279,029	25,667	1,206	305,903
セグメント利益	9,652	3,568	11	13,232

(注) 売上高およびセグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

<追加情報>

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。